

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワンライフNISHIO		
○保護者評価実施期間	2024年9月1日		～ 2024年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2024年9月1日		～ 2024年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年11月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育と少人数のグループ療育を基本とし、保護者様からのニーズに、柔軟に対応した支援を提供している。	保護者様から頂いた情報をすぐに療育内容に反映するよう、スタッフ間での情報共有に気をつけている。	保護者様との連携だけでなく、本人ニーズのヒアリングにも力を入れていく。
2	ブラジルの言語聴覚士、心理士、教育学、日本の保育士、教員免許、児童指導員など、専門の資格をもったスタッフを配置し、多国籍の利用者様に利用していただいている。	有資格者の求人を中心に募集をしている。専門の知識を持ったスタッフからのアドバイスや、有資格者同士での意見交換にて療育に幅を持たせている。	保護者様からのご期待に沿えるよう、多方面からの有資格者の獲得に注力したい。
3	利用者様が様々な豊かな経験ができるよう、クッキング、運動、制作などプログラムも行っています。季節や、母国の行事に合わせたイベントにも力を入れ、ご家族で参加も可能です。	各イベントでは、作りあげる達成感や他児との協力によるコミュニケーションやチームワークが育つよう意識している。	ご家族参加のイベントの計画を増やし、子どもへの療育の様子を見て頂くことで家庭でも同じように行ってもらい療育の効果をアップ・ご家族のお困り感を軽減できるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービスを一部の場所にしか、提供できていない。	支援に注力しており、送迎業務に配置する人員が不足している	送迎要員確保の検討をする
2	事業所が二階のため、車いす等に対応できない。	賃貸物件のため、エレベーターの設置が難しい	車いす用階段昇降機の検討をする
3	個別対応する際、受け入れ人数によっては、集中できるスペースが確保しにくい場面がある。	支援室のエリアが決まっているので、これ以上の拡大ができない	利用者個々の障がいの特性だけでなく、安全面も考慮し、支援室を区切るためのパーティションの利用の検討をする

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ワンライフ NISHIO

公表日 2024年11月18日

利用児童数 27

回収数 16

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16				個別なので十分なスペースがある。	・今以上に広さの確保を行うのは物理的に難しいですが、障がいの特性に配慮し、スペースを有効的に活用した支援を行っていきます
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14			2	子どもの数がどれぐらいで、それが足りているかわからない。	・メインは個別にて支援をさせて頂いておりますので、職員配置数は適切な状態です。グループでの活動の際にも利用者の人数に配慮したスタッフ配置で対応をさせて頂いております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1	1	2	環境については子どもたちにわかりやすい。身体に障害があるなど他の障害がある場合、階段があると何とも言えない。急な階段はない方がいい。身体の不自由な子には来るのは難しい。	・事業所が二階にあり、貨物物のため建物の構造を変更することや、エレベーターの設置が難しいです。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16					・事業所内を清潔に保てるよう、より一層努めてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16					・有資格者のスタッフを配置し、保護者様とコミュニケーションを取りながら支援を行っております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16					・公表している支援プログラムとに加えて、個別に保護者様のニーズに合わせた支援内容を提供させて頂いております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15			1		・外国籍の保護者様や支援スタッフに通訳を介して、ニーズや課題を聞き取り、個別支援計画の作成に努めております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13			3	話す機会が少ないと思う。	・個別支援計画書の記載の内容を適宜、更新しております。目標や支援内容など、分かりやすさに留意していきます。計画内容だけでなく、日々の支援の様子などご家族とお話が出来る時間を増やせるよう努めてまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15			1	週末や土曜日にしかプールやトランポリンがない。	・ご家族のご意見に沿い、個別でも可能な支援については曜日を問わず行うよう努めてまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16					・人気のあるイベントにつきましては継続しておりますが、その他のイベントについては様々な経験や刺激になるように内容には配慮しております。今後も楽しんで頂けるよう努めてまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	1		2		・現状、実施できておりません。多文化共生フェスティバルなどのイベントを実施予定で、地域のこども達との関わりも強化して行きたいと思っております。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					・ご契約時、ご不明点などをお伺いするのと合わせ、丁寧な説明を心がけてまいります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15			1		・計画書の内容のご説明は、保護者様へ分かりやすく説明を行うよう心がけております。ご不明点やご意見をしっかりとお伺い出来るよう、努めてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	3		4	ワンライフOKAZAKIにはもっと研修があったが、ワンライフNISHIOにはない。	・現在、研修という場は設けておりませんが、ご家族参加も可能なイベントを用意し、スタッフの支援を見て頂く機会や、ご家族と一緒に楽しんでいただける機会を設けております。今後もこのような機会多く持ち、ご家族支援にも力を入れてまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	15			1		・支援の内容のお伝えだけでなく、ご家庭の様子や心配事などのお話を伺い情報共有を回っております。お子様の些細な変化でも共有が出来るよう更にコミュニケーションを大切にしております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	2	2			・保護者様のニーズに沿って行っております。保護者様の負担が軽減できるよう、様々なサポートの提案が出来るよう努めてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16					・フィードバックの際に保護者様からのお話を聞きながら、よりよい支援について検討しております。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	1	1	4		・ご家族参加も可能なイベントを用意し、スタッフの支援を見て頂ける機会や、ご家族と一緒に楽しんでいただける機会を設けております。今後もこのような機会多く持ち、ご家族支援にも力を入れてまいります。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15				支援の必要な子は定期的に評価を受ける場所がある。	・保護者様からのニーズに対しては個別で対応を取らせて頂いておりましたが、利用者様全員にサービスの周知を行いより多くの方の相談に乗ることが出来るよう努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					・言語面での心配のあるご利用者様や保護者様にも対応できるよう通訳が出来るスタッフを配置しており、翻訳アプリを使用し明確な情報伝達出来るよう努めております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15					・支援の様子やイベントの様子はInstagramを使用し、定期的に配信を行っております。自己評価等についても、貼り出しを行うことでお伝えしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15					・契約時に個人情報の承諾書を保護者様にいただいた上で、取り扱いには十分に注意しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9		1	6	今のところ緊急事態はないからわからない。(子どもに何も言わなくてよかった。)	・事業所内にはマニュアルを策定し設置しておりますが、利用者様全員に訓練の実施ができていないのが現状です。今後は全員に訓練が実施できるよう努め、保護者様にも救出についての訓練のご協力をお願いしていきたいと思っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			7	今のところ緊急事態はないからわからない。	・月に一度、避難訓練を行っておりますが、利用者様全員に訓練の実施ができていないのが現状です。今後は全員に訓練が実施できるよう努め、保護者様にも救出についての訓練のご協力をお願いしていきたいと思っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			4	今のところ緊急事態はないからわからない。	・計画については保護者様への周知が出来ておりませんが、見学時には施設の環境設定などの説明をさせていただいております。今後も環境や利用者様への関わり方については安全第一で運営してまいります。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13			2	今のところ緊急事態はないからわからない。	・事故発生時は必ず保護者に状況とケガの様子などを説明しております。また事故報告書やヒヤリハット報告書などの記載も行い、再発防止・抑止に努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16					・利用開始時は泣いてしまう子もいますが、日を追うごとに笑顔で通所が出来るようになっていきます。今後もより深く信頼関係を築いて行けるよう努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1			喜んで通所するが、意欲的ではない。	・保護者のニーズに合った支援内容が提供できるよう支援・イベント等を工夫してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16				専門的なスタッフもいて、いろいろな活動を実施しているから、安城市や知立市に送迎のある事業所を開所してほしい。	・今後も支援にご満足いただけるよう邁進してまいります。より多くの方に支援を提供できるよう専門スタッフの確保、安定的な事業所運営を行ってまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ワンライフ NISHIO			公表日		2024年11月18日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2		同時刻での利用が重なった際に、支援環境に配慮するための部屋の区切り(パーティション等)が必要だと思われる。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2		階段のため、身体の不自由な方の来所はできない。物件都合でエレベーター設置は難しい。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1		コンセントやそのほかの場所に保護を取り付ける必要があります。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2		子どもの数が多い時には部屋を一緒に使うことが必要になります。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8					
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		インフォーマルなアセスメントがメインになっている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8					

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	グループにて活動を行う際には、支援内容やスタッフ配置には共有があり、LINEにて情報共有の漏れがないようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	6	2	必ずではないが、問題があった時にはできていないと思う。	利用者の様子の情報共有は常に行っていますが、定まった時間を設けて行ってはいないです。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1		管理者が参加しているが、難しい時にはスタッフ間で情報の共有をした後、参加している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			過去に事例はないが、対応していくつもりである。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1		助言を頂く機会を調べたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4		今後の法人イベントでは地域の子どもたちとの交流を促していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8			
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8				
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3		個別のミーティングをしています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	8		保護者会はないが、イベント時に保護者参加可能なものもあり、保護者同士の交流はあると思われる。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1		スムーズな業務遂行と個人情報保護の両立が難しいと思うことがある。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3		今後の法人イベントでは地域の人たちとの交流を促していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	3	勤務の都合により参加できない職員にも、動画等でフォローしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	事前にスケジュールを組み、定期的に訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	医師の指示書は見えていないが、アレルギーの有無に関しては把握をして配慮している。	該当児童の有無不明。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8				